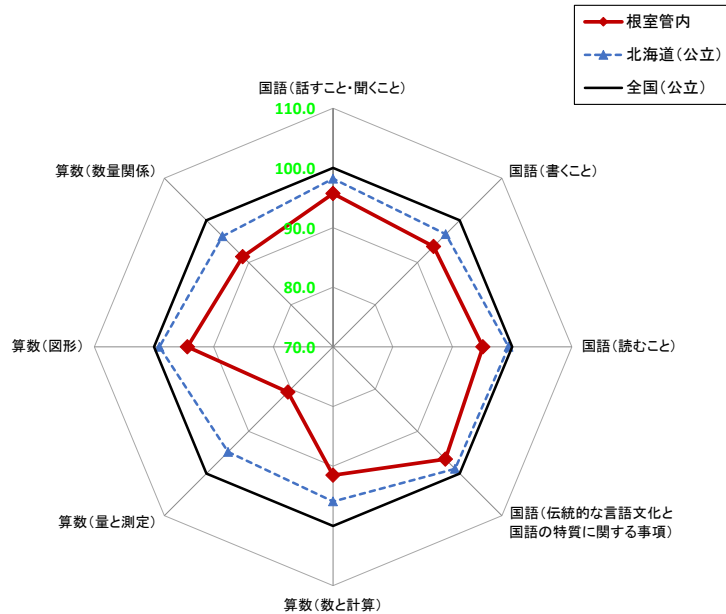


■小学校の状況(学校数:25校、児童数:640人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの

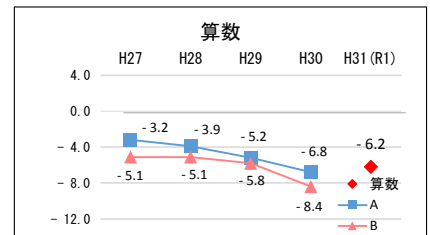
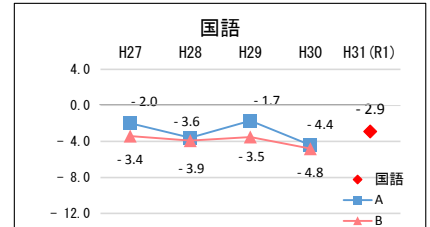
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率】

	国語	算数
根室	61[60.9]	60[60.4]
全国	64[63.8]	67[66.6]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

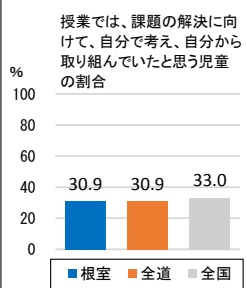


※「管内の平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の経年変化

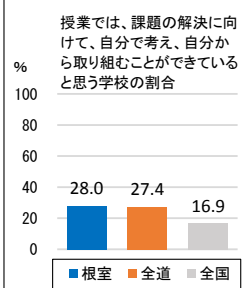
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

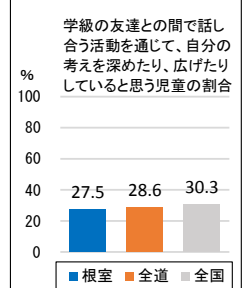
* 児童質問紙



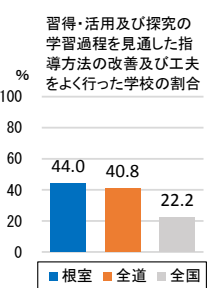
* 学校質問紙



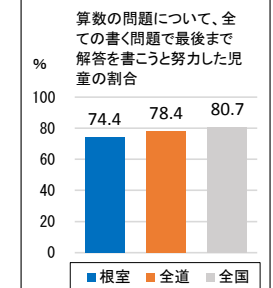
* 児童質問紙



* 学校質問紙

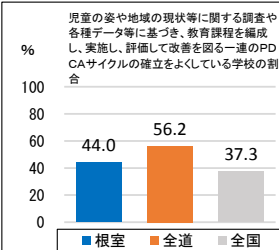


* 児童質問紙

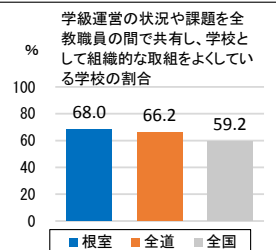


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

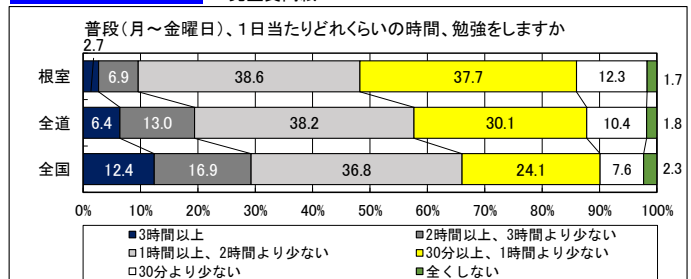


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



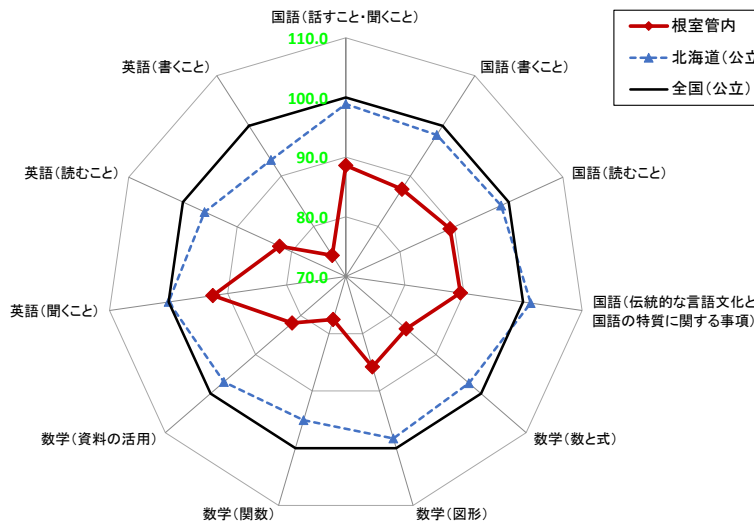
【分析及び改善の方向性】

分析	○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は44.0%、学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的な取組をよくしている学校の割合は68.0%であり、いずれも全国を上回っている。 ○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った学校の割合は44.0%であり、全国及び全道を上回っている。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をしている児童の割合は48.2%で、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	○ 授業評価において、児童の評価だけではなく、教員の評価を確実に実施し、授業改善の課題を焦点化するとともに、改善策の進行状況について、管理職が中心となって把握し指導助言する体制を整備する必要がある。 ○ 児童が必要感を実感する問題提示や視点を明確にした話し合い活動、自身の変容を実感する振り返りなどが確実に位置付けられた授業が展開されているか、管理職が中心となって確認し、課題に対しては即座に指導するなど、「やっているつもり」の習得・活用及び探究の学習過程」を抜本的に改善する必要がある。 ○ 家庭学習の意義や具体的な戦略について全教員が共有する機会を設けるとともに、根室地方PTA連合会等と連携して、家庭学習に対する保護者の意識改善を図る必要がある。

■中学校の状況(学校数:21校、生徒数:665人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

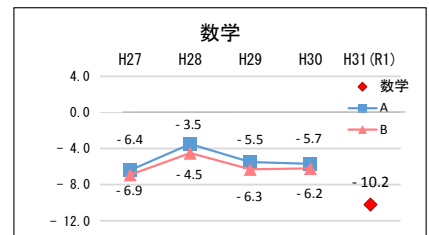
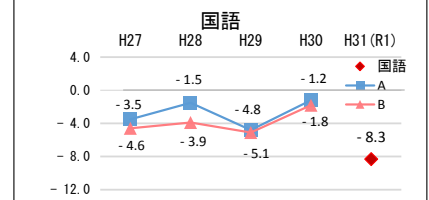


【平均正答率】

	国語	数学	英語
根室	65[64.5]	50[49.6]	47[46.9]
全国	73[72.8]	60[59.8]	56[56.0]

※英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計値

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

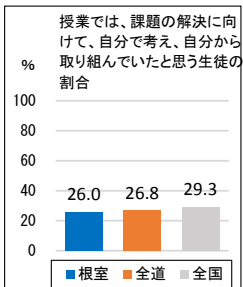


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

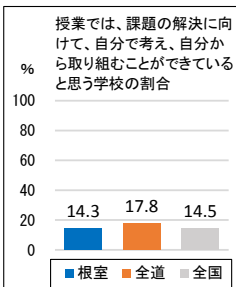
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

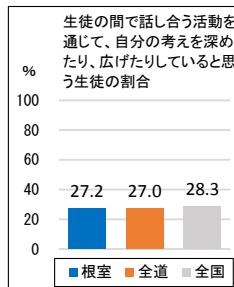
* 生徒質問紙



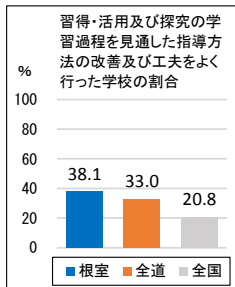
* 学校質問紙



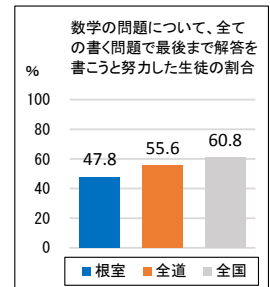
* 生徒質問紙



* 学校質問紙

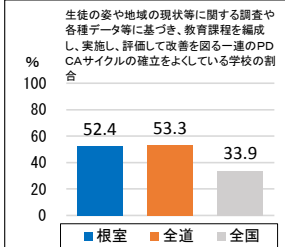


* 生徒質問紙

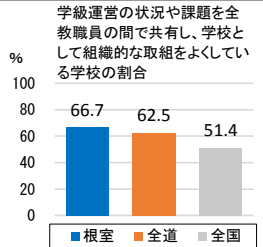


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

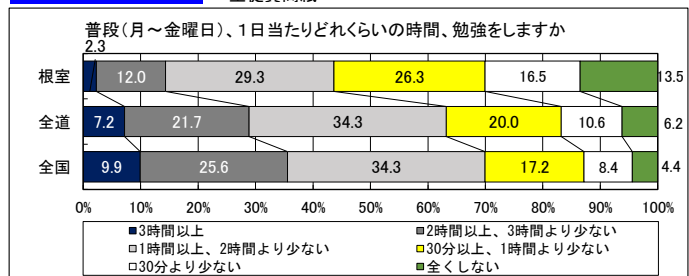


* 学校質問紙



学習習慣

* 生徒質問紙



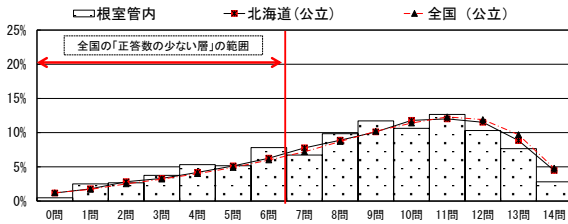
【分析及び改善の方向性】

分析	○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は52.4%、学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的な取組をよくしている学校の割合は66.7%であり、いずれも全国を上回っている。 ○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った学校の割合は38.1%であり、全国及び全道を上回っている。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をしている生徒の割合は43.6%で、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	○ 授業評価において、生徒の評価だけではなく、教員の評価を確実に実施し、授業改善の課題を焦点化するとともに、改善策の進捗状況について、管理職が中心となって把握し指導助言する体制を整備する必要がある。 ○ 生徒が必要感を実感する問題提示や視点から明確にした話し合い活動、自身の姿を実感する振り返りなどが確実に位置付けられた授業が展開されているか、管理職が中心となって確認し、課題に対しては即座に指導するなど、「やっているつもり」の習得・活用及び探究の学習過程」を抜本的に改善する必要がある。 ○ 家庭学習の意義や具体的な戦略について全教員が共有する機会を設けるとともに、根室地方PTA連合会等と連携して、家庭学習に対する保護者の意識改善を図る必要がある。

根室管内

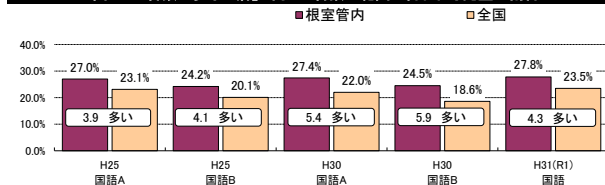
小学校国語

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
根室管内	640	8.5 / 14	60.9	9.0	3.3
北海道(公立)	38,831	8.8 / 14	62.8	9.0	3.4
全国(公立)	1,028,203	8.9 / 14	63.8	10.0	3.4



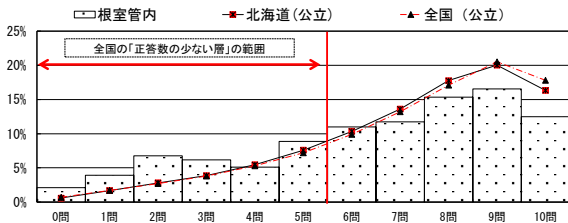
●全国的「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国的「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



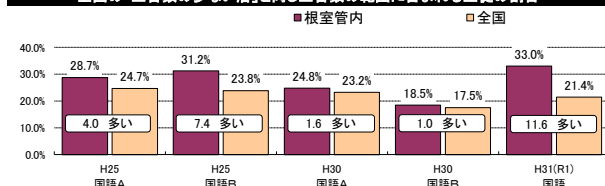
中学校国語

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
根室管内	665	6.5 / 10	64.5	7.0	2.8
北海道(公立)	37,859	7.2 / 10	72.1	8.0	2.4
全国(公立)	938,797	7.3 / 10	72.8	8.0	2.4



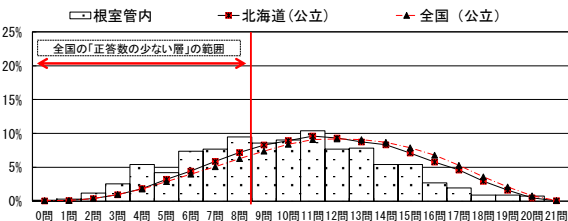
●全国的「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国的「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



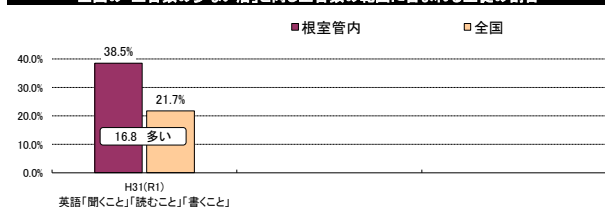
中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
根室管内	664	9.9 / 21	46.9	10.0	3.9
北海道(公立)	37,844	11.4 / 21	54.2	11.0	3.8
全国(公立)	938,888	11.8 / 21	56.0	12.0	3.9



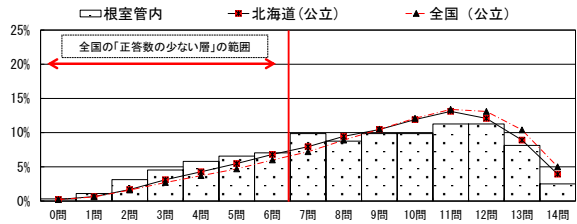
●全国的「正答数の少ない層」は、8問以下の正答数

全国的「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



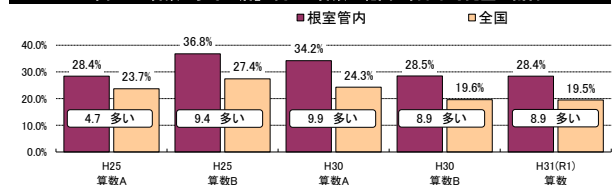
小学校算数

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
根室管内	639	8.5 / 14	60.4	9.0	3.3
北海道(公立)	38,837	9.0 / 14	64.5	9.0	3.1
全国(公立)	1,028,177	9.3 / 14	66.6	10.0	3.1



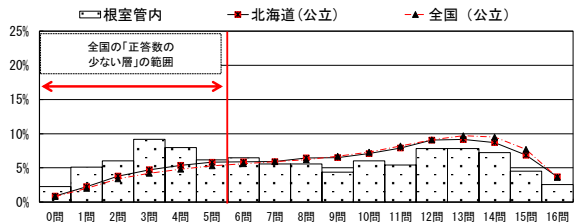
●全国的「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国的「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



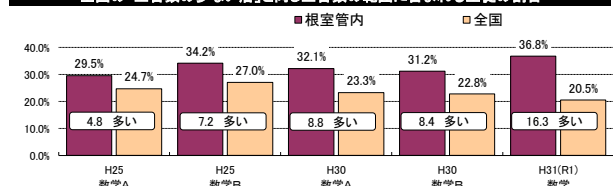
中学校数学

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
根室管内	665	7.9 / 16	49.6	8.0	4.6
北海道(公立)	37,844	9.3 / 16	58.1	10.0	4.2
全国(公立)	938,887	9.6 / 16	59.8	10.0	4.2



●全国的「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国的「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



【参考】【平成28年度(小学校)】全国的「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A

根室管内	全国
25.3%	21.3%
全国との差 4.0	多い

小学校国語B

根室管内	全国
37.0%	29.8%
全国との差 7.2	多い

小学校算数A

根室管内	全国
31.0%	24.2%
全国との差 6.8	多い

小学校算数B

根室管内	全国
25.7%	20.0%
全国との差 5.7	多い

